



総合計画は、役場職員が業務で活用する施策編の本冊(左)と、未来像とアクションを表現し、町民・役場ともに活用するビジョン編の別冊(右)の2冊がある。



別冊には、「まじめにおもしろい」未来の佐川町の姿として「25の未来像」が紹介されており、その中の1つに「まちまるごと植物園」が掲載されている。

今月号の特集では、総合計画で目指す幸せについて見つめ直すと同時に、総合計画の中間年に併せて、自分や家族・友人、地域の視点で、これまでの5年間とこれからの5年間について、一緒に考えていきたいと思えます。その中で、皆さんの暮らしと、町の総合計画が結び付いていることを感じていただけたら幸いです。

佐川町民アンケート

問 チーム佐川推進課 電話22-7740

【郵送方式】

10月下旬から11月初旬に、町内在住の1,000人の方を抽出して郵送配布しています。
提出期限：11月20日(金)消印有効

【インターネット方式】

町内在住の方ならどなたでもご回答いただけます。佐川町HP、もしくは右のQRコードからアクセスしてください。
回答期間：11月1日(日)～11月20日(金)



◆佐川町第5次総合計画

幸せなまちづくりを進めていくための羅針盤ともいえる第5次佐川町総合計画は、「みんなでつくる総合計画」をスローガンに、2016年に策定されました。計画策定までの過程では、地区懇談会をはじめ、しあわせ会議、未来づくりサロンなど、多くの住民の方々に参加していただきました。

◆佐川町民アンケートを実施

今年度は、10年間の総合計画(2016―2025年)の中間年にあたる5年目となります。改めて、町民の皆さんの想いをお聞かせいただくと同時に、総合計画の進捗を確認するため、「佐川町民アンケート」を実施します。過去2回(2004年と2014年)と同様の質問項目で、現在との比較分析を行います。

また、今回は新たに「まちまるごと植物園」の取り組みに関するアンケートも実施しています。植物学者牧野富太郎博士のふるさと佐川町で、個人のお庭や地域の花壇、貴重な山野草の自生地など、町全体を植物園に見立てて、植物を通じて人々がつながりある「植物のまち」の推進に向けて、皆さんのご協力が必要です。アンケートを通じて、皆さんの想いを届けてください。

特集

佐川町の未来は、町民1人ひとりの幸せから

第5次総合計画
アンケートに
ご協力ください！

広報さかわ

11月号

令和2年11月1日 発行

今月の表紙



先月の上旬～中旬にかけて、牧野富太郎博士の命名種「ジョウロウホトトギス」が牧野公園で見頃を迎えていました。ここ数年の中では一番の咲きぶりで、見る人を楽しませていました。

PICK UP CONTENTS

- P 2 [特集] 佐川町の未来は、町民1人ひとりの幸せから
- P 8 子育て・健康応援ページ
- P 10 高北病院
- P 11 かわせみからのお知らせ
- P 14 お知らせ
- P 28 ボタニカルニュース
- P 29 青山文庫だより & 文芸
- P 30 としょかんだより
- P 31 さかわ発明ラボNEWS
- P 32 さかわ観光協会
- P 33 学校だより-佐川中学校-

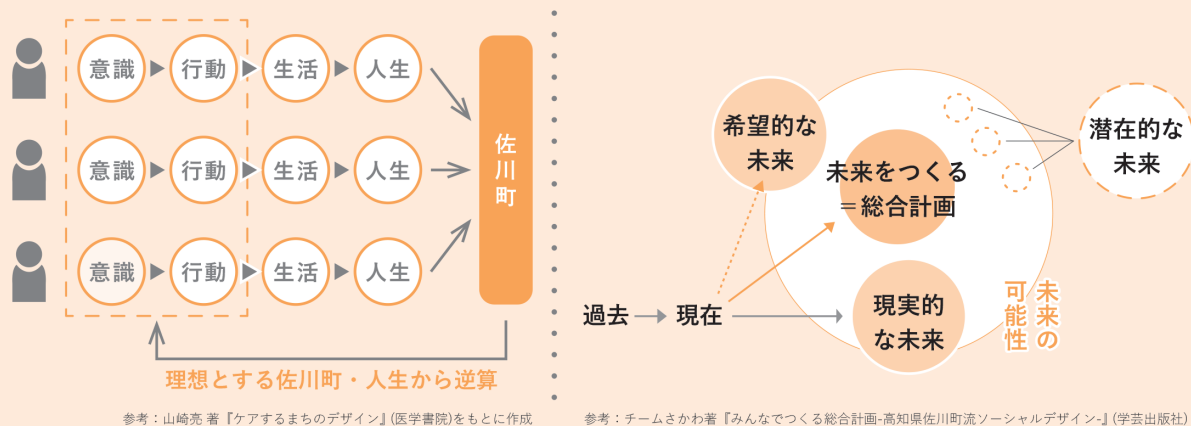
【コラム】 地域はそこに生きる人たちの人生の集積

全国の地域づくりに携わる山崎亮氏は、著書『ケアするまちのデザイン』（医学書院）で、地域は地域として存在しているのではなく、多くの人の人生が蓄積して存在していると説明しています。人生は日々の生活から成り立ち、生活はひとつずつの行動から成り立っている。行動は意識によって生まれているものであり、すなわち、意識から行動が生まれ、行動が生活をつくり、生活が人生をつくり、人生が集まって地域をつくっているというわけです。

世界中の読者から支持を集めるピーター・ドラッカーは、未来とはわからないものと述べたうえで、「未来を知る方法は2つある」とも述べています。1つは、『希望的

な未来』を描き、自らつくること。もう1つは、すでに起こっている実現可能性の高い未来＝『現実的な未来』を学ぶことです。この2つに加えて、もう1つ未来を知る方法として、現在世界中で起きている様々な先駆的な事象から未来の変化を読むことだと言っています。例えば、人工知能や情報通信技術の発展は『潜在的な未来』でしょう。

それらが掛け合わさることで未来はつくられていくとすると、町民1人ひとりが幸せな未来を意識し、行動し、それらが連なって生活となり人生となった時、佐川町は幸せな町として生まれ、花を咲かせることでしょう。あなたの今日の幸せが、佐川町の幸せな未来をつくっているのです。



参考：山崎亮 著『ケアするまちのデザイン』（医学書院）をもとに作成

参考：チームさかわ著『みんなで作る総合計画-高知県佐川町流ソーシャルデザイン-』（学芸出版社）



2015年2月15日「しあわせ会議」佐川町立桜座

幸せなまちを実現するために ～人が幸せを感じる5つの要素～

総合計画の策定に向けて開催された
2015年2月の「しあわせ会議」から5年。
いま、改めて見つめ直す“幸せ”とは？

幸福学の第一人者である慶應義塾大学大学院の前野隆司教授によると、人が幸せを感じる要因は大きく4つの因子で構成されます。「自己実現と成長」「つながりと感謝」「前向きと楽観」。人は成長の機会に恵まれ、大切な人とのつながりを保ち、自分らしく、前向きな気持ちで行動できれば、幸せな人生を送れると

第5次佐川町総合計画では「佐川町民のしあわせ度を最大化する」ことを目標に掲げています。また、その評価指標として「地域しあわせ風土指標」が導入されており、従来の幸福度調査で重視されてきた病院の数や所得といった客観的な評価指標ではなく、町民の主観的な感情と実感している幸福度を最大限調査に反映させるという独自性を備えています。

2015年2月に開催された「しあわせ会議」では、前野教授から前述の幸福を感じるメカニズムについての講義が行われ、集まった193人の町民が幸せな町にするための具体的なアクションをワークショップ形式で話し合いました。それから5年が経ちます。当時、語り合った未来やアクションは順調に実現していますか？改めて、皆さんが想像する幸せとその実現に向けたアクションを考えてみてはいかがでしょうか？

ということです。ただし、食べるのに困るほど経済的に困窮していたり、災害など身の危険を感じていたりしたら、幸せとは言えませんが、そこで4つの因子に「安全と安心」を加え、5つの因子が地域の幸福度を高めるために必要な要素だと定義しています。

記入例

	過去				現在		未来					
	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	
	(30)歳	(31)歳	(32)歳	(33)歳	(34)歳	(35)歳	(36)歳	(37)歳	(38)歳	(39)歳	(40)歳	
自分	結婚 新婚旅行へ	長男が誕生 身体を鍛える	ウキウキ 開始 (毎朝継続)	ランニング 変更	料理を新たに学ぶ	作る料理が30%に	トレーニングのおかげで 腹筋がバキバキ!!		100%に!!!			マイホーム 建て家族と 暮らす
家族・友人	妻が妊娠	→ 親戚や友人に 祝福してもらう	長男が生まれる	妻、職場に復帰 長男が保育園	長男が運動会	家族や友人に 手料理をふるまう → 長男に「おいしい」と言われる	犬を飼いはじめ、 家族の一員に。					

わたしと佐川町の10年間年表をつくってみよう！

皆さんは10年を短いと感じますか？それとも長いと感じますか？生涯のある時期における時間の心理的長さは年齢に反比例するとも言われ、歳を重ねるごとに時間が早く感じてしまうことには抗えませんが、子どもの頃のように、新しい出会いや経験といった機会を積極的に増やすことで、より充実した時間を過ごすことは可能です。

これまでの5年間とこれからの5年間の「やってみよう」や「ありがとう」を書き出してみることで、意識していなかったあなたの“幸せ”を再発見できるかもしれません！

まずは、暮らし・働く・楽しむ・家族・つながりといった様々な視点をヒントに、これまでの出来事とこれからの理想の展開を書き込んでみましょう。そして、あなたの周りの家族や友人についても想像してみることで、大切にしたいつながりが見えてくることでしょう。書き込んだ年表は、他の人と共有してみると面白いかもしれませんね。

わたしと佐川町の10年間年表

	過去				現在	未来					
	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
自分	()歳	()歳	()歳	()歳	()歳	()歳	()歳	()歳	()歳	()歳	()歳
家族・友人											
チームさかわ 主な取り組み Ⅱ 多くの町民の皆さんに 参加やご利用 いただいた 取り組み	・仁淀ブルー観光協議会発足 ・佐川町空き家バンク開始 ・さかわ地乳まつり（第2回） ・新佐川町制施行60周年 ・さかわファミリーサポートセンター開設 ・第5次佐川町総合計画策定 	・さかわ発明ラボ役場前へ移転（本格オープン） ・4地区で集落活動センター・集落支援員始動 ・さかわぐるぐるバス運行開始	・小野大輔氏 観光大使就任 ・チャレンジショップさかわオープン ・新黒岩中央保育所落成 ・第1回チームさかわの日開催 ・さかわ発明ラボ役場前へ移転（本格オープン） 	・黒岩ふれあい文化祭リニューアル ・さくらさいたねつと公開 ・子育て世代包括支援センター開設 ・あったかふれあいセンター4地区開所 ・子育てしやすいまち宣言 ・どんどこ巨大紙相撲 桜座場所開催 ・五位山イルミネーション開催 	・朝ドラ牧野の会 1万5000人の署名提出 ・わんさかわっしょい体験博開催 ・牧野公園写真展・生誕祭開催 ・まちまるごと植物園 ロゴマーク決定 ・広報さかわ5月号から特集ページスタート ・第2テニスコート 完成 ・さかわかき氷街道 スタート 	・新観光列車「時代の夜明けのものがたり」運行開始 ・佐川地区あったかふれあいセンター夢まち開所 ・コロナに負けん！チーム佐川支えあい基金創設 ・第2期佐川町まち・ひと・しごと総合戦略 策定 ・佐川町ホームページリニューアル ・ふるさとづくり大賞 受賞	2021 ・JR 客車（ロ481号）が約50年ぶりに佐川町に移設 当時を懐かしむ町民や鉄道ファンで上町が賑わう ・広井勇博士の銅像が上町に建立 日本近代土木工学の先駆者を顕彰し、文教のまちを誇りに思う人々の聖地となる 2022 ・牧野富太郎博士 生誕160周年 数々の催しにより、博士の偉業を再認識すると同時に、植物を愛でる人々の輪が広がる ・まきのさんの道の駅佐川 オープン おもちゃ美術館を併設した待望の道の駅が完成 町民が集い、愛され、活用される憩いの場となる 2024 ・新文化拠点 完成 新文化拠点と地域・学校・集落活動センターが新しい情報通信技術で結ばれ、ふるさとを愛する学びのネットワークが形成される 				